

2025年度 第1回明石市文化財保護審議会 会議要旨

日 時	2025年9月4日（金）午前10時00分～午前11時10分
場 所	明石市立文化博物館 大会議室
出席者	明石市文化財保護審議会委員 5名（うち会長1名） 事務局 5名
配布物	・2025年度第1回明石市文化財保護審議会次第 ・明石市文化財保存活用地域計画概要版 ・明石市立文化博物館企画展「明石で華ひらく知と美の世界」チラシ ・魚住文化財収蔵庫企画展「石器展」チラシ

1. 開会

（1）委嘱状交付

（2）会長・副会長の選出

- ・互選により、会長に奥村氏、副会長に冷泉氏を選出。

2. 議事

（1）市指定文化財の指定解除について（答申案の検討）（審議）

- ・中崎公会堂

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

- ・解除する昭和時代の和室部分はなぜ市指定になっていたのか。

⇒令和5年に明石指定有形文化財に指定された際には、それ以前に国の登録有形文化財として登録されていた。この和室部分も一体的な活用をされており、そこを含めて登録されていた。市指定の際にも切り離すのではなく、一体的な建築として指定されていた。

・兵庫県指定重要有形文化財に指定されていない市指定として残った部分に明治期の建築部分は含まれなくなったため、指定の解除はやむを得ない。その一方で、県指定部分と一体の建築として40年以上も市民の利用に供されていることから、今後の改修などに際しては、現在の外観や意匠を尊重して実施されることを望むことを答申に記載する。

（2）市文化財指定候補について（審議）

- ・龍虎図

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・過去に兵庫県立歴史博物館の展覧会で出品しているものである。落款もあり円山応挙の師である石田幽汀と明石との関係を示す貴重な資料である。

- ・松鶴図

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

- ・落款がないので指定するとすれば「伝」をつけなければならないのではないのか。

⇒この板絵は企画展「明石で華ひらく知と美の世界」でお借りして展示するので、

実際に見ていただく機会をつくることとする。

（３）明石市文化財保存活用地域計画の改定について（審議）

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・この計画の責任主体はどこになるのか。

⇒文化庁の認定を受けて、市としての決定となっている。

・組織の名称が「歴史文化財担当」というのは、わかりにくい。一般市民の感覚からすれば担当というのは、担当者のこと。普通の組織であれば局や、その下ならば課ということになる。

⇒明石市の場合は分かりにくくなっていて、局があって、その下に室があって、室によってはその下に課があるところもあるし、ないところもある。

・「市民生活局文化・スポーツ室歴史文化財担当」が明確に文化財を取り扱うことになっていることを今後も気を付けていただくようにすればよいのではないか。

３．報告

（１）旧安藤家住宅について

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

特になし

（２）ふね遺産の認定について

事務局より資料に沿って説明。

<主な意見>

・市民の方々を中心にして、ここまで取り組んでこられたのは明石市民にとっても、あるいは明石海峡全体の文化にとっても非常に意味のあることである。

４．閉会